

# 都市経営戦略会議

(夏の集中審議)

「公共施設マネジメント」

---

平成27年8月21日(金)  
都市経営戦略会議  
(夏の集中審議)資料  
行財政改革推進部

【論点】

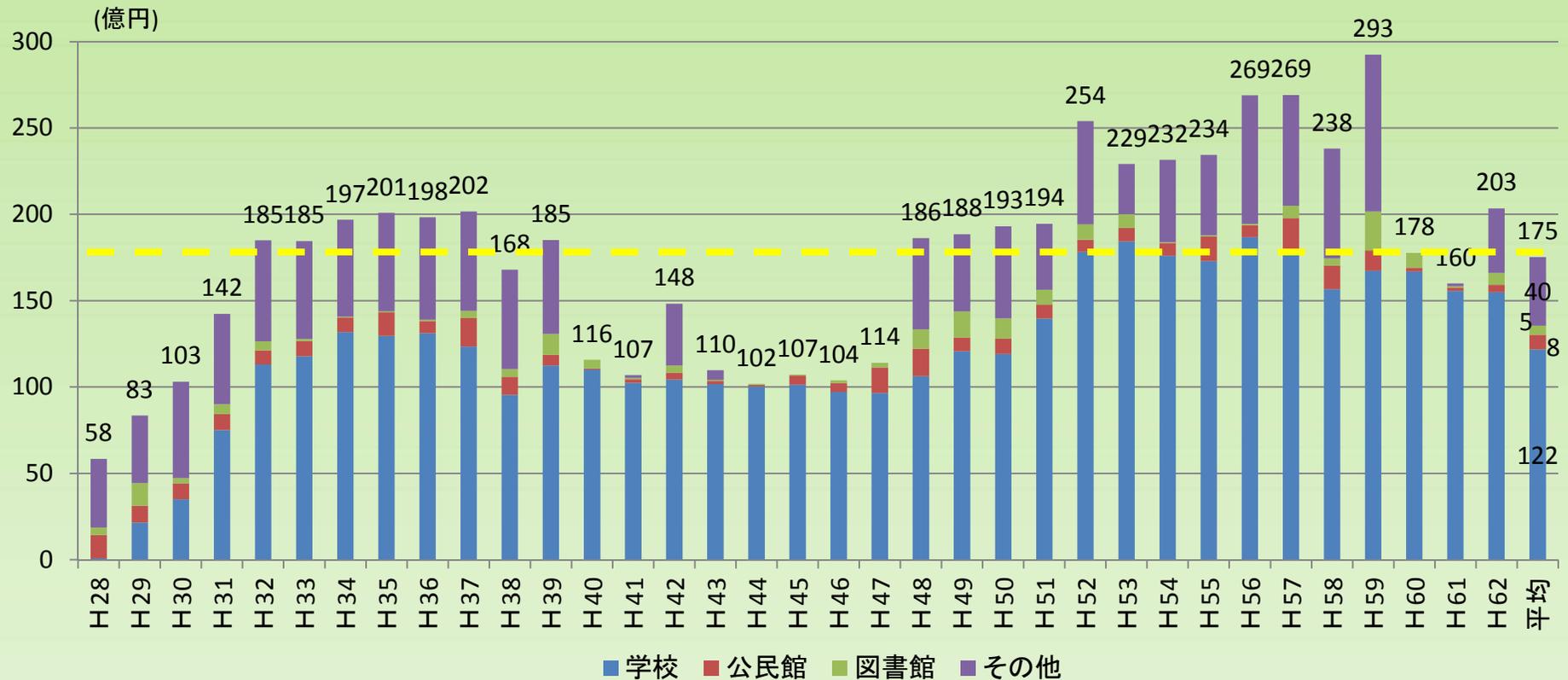
予防保全等の計画、事業  
費見込み

---

公共施設マネジメント基金  
の活用等、財源の考え方

---

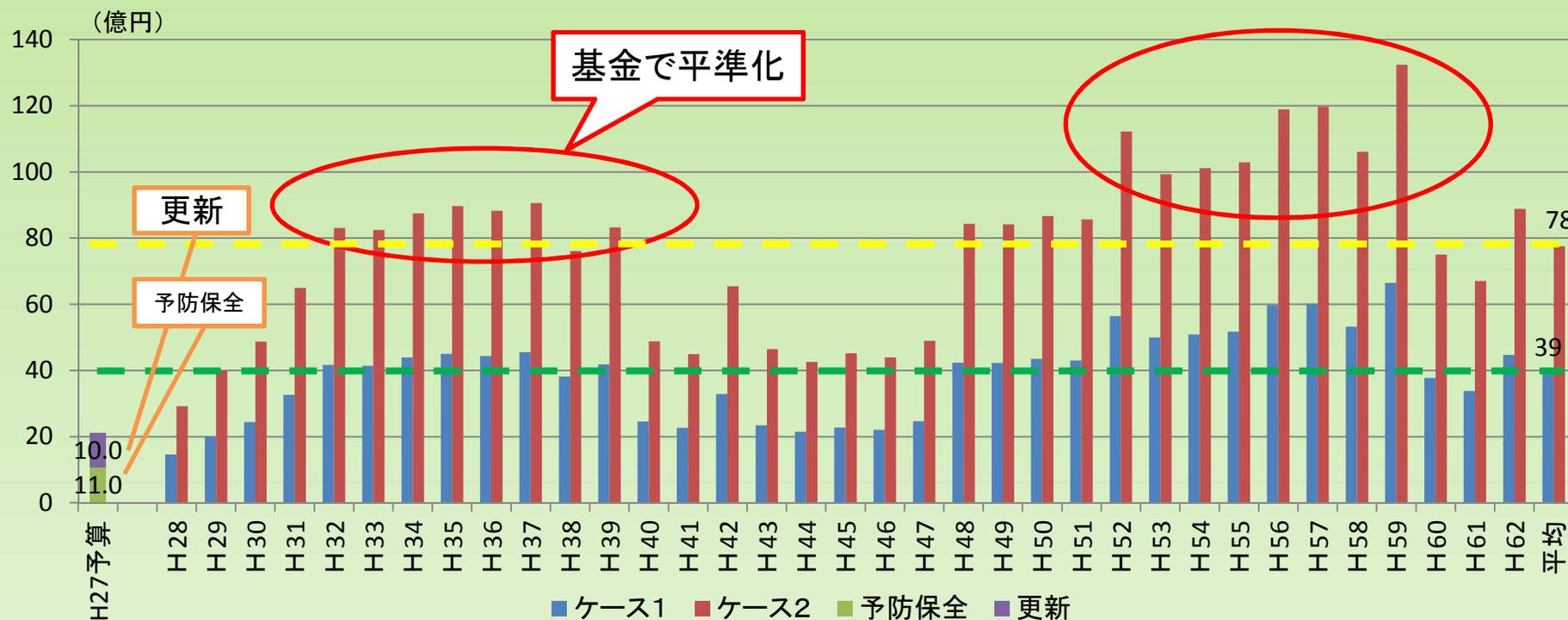
# 事業費見込み(事業費ベース)



**事業費ベースのハコモノ予防保全・更新は年平均175億円**

※事業費見込みは、ハコモノ施設の更新、予防保全を対象とし、新設は含まない。  
 ※事業費見込みは、学校・公民館・図書館の各リフレッシュプラン案の見込額に、その他施設の見込額を合算し、物価スライド相当の係数として1.21を乗じたもの。  
 ※なお、事業費見込みには、毎年度の維持改修並びに保育園及びプラント系のクリーンセンターの予防保全・維持改修を含まない。

# 事業費見込み(一般財源ベース)



- 二つのピークが発生
- 圧倒的な財源不足



基金への積立て  
で対応

ケース1.....学校施設 一般財源21% 国庫補助16.6% 市債62.4%  
(アクションプラン推計と同等の財源構成) 学校施設以外 一般財源25% 市債75%

ケース2.....学校施設 一般財源41.7% 国庫補助16.6% 市債41.7%  
(H27年度予算から類推した財源構成) 学校施設以外 一般財源50% 市債50%

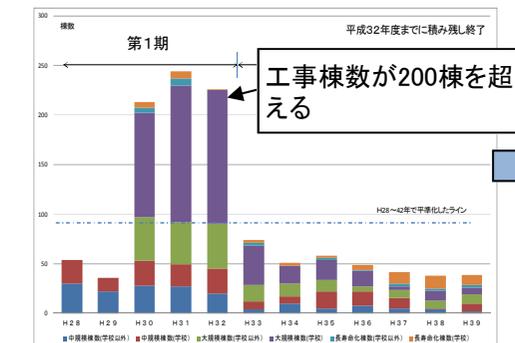
# 予防保全の取組

## 予防保全工事の平準化

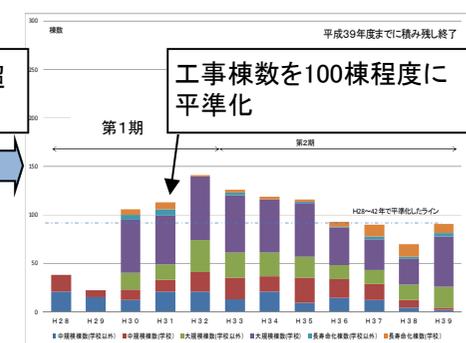
『積残し工事』  
平成32年度ま  
でに完了予定

- ・公共施設マネジメント計  
画・第1次アクションプラン  
策定時(H26.3)

アクションプラン (H26.3)



見直し (H27.1)



平成39年度ま  
でに平準化  
(後倒し)ずみ

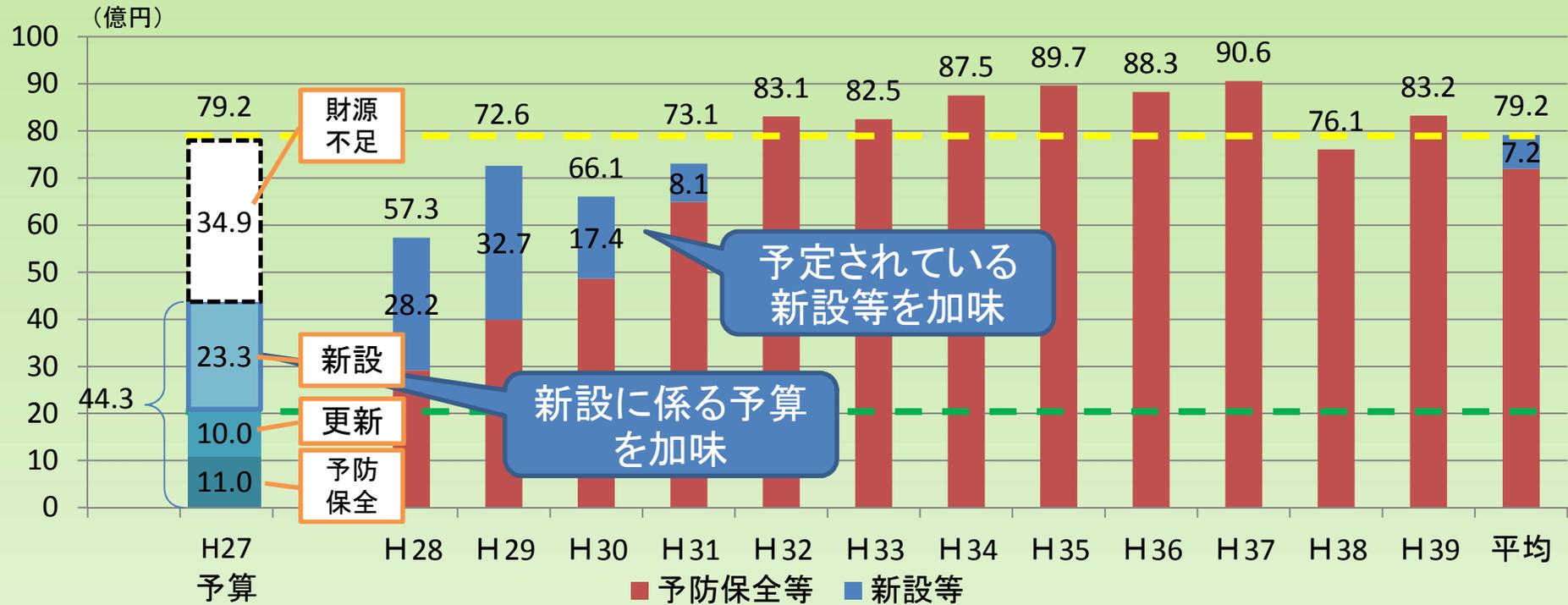
- ・平成27年度当初予算  
市長査定時の見直し  
(H27.1)

更なる  
平準化？

- ・ 緊急修繕・維持改修工事の増加  
によるコスト増
- ・ 建物・設備の劣化による事故リス  
クの拡大

更なる平準化は  
適当でない

# 財源不足額の算定



基金創設時財源不足額  
27億円/年(H26-33)



今回推計の財源不足額  
34.9億円/年(H28-39)

※「予防保全等」は、事業費見込み(一般財源ベース)のケース2の額

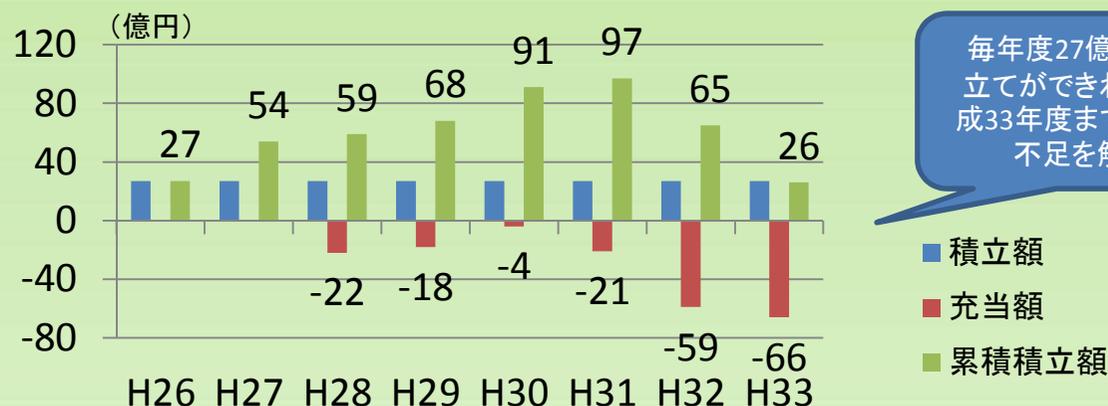
※「新設等」は、新設、増築及びアクションプランの時期によらない更新に係る中期財政収支見通し上の一般財源額

※主な新設等:子ども総合センター、大宮区役所新庁舎、美園地区新設小・中学校、仲町小学校など

# 基金の活用等・財源の考え方

基金創設時：目安額27億円

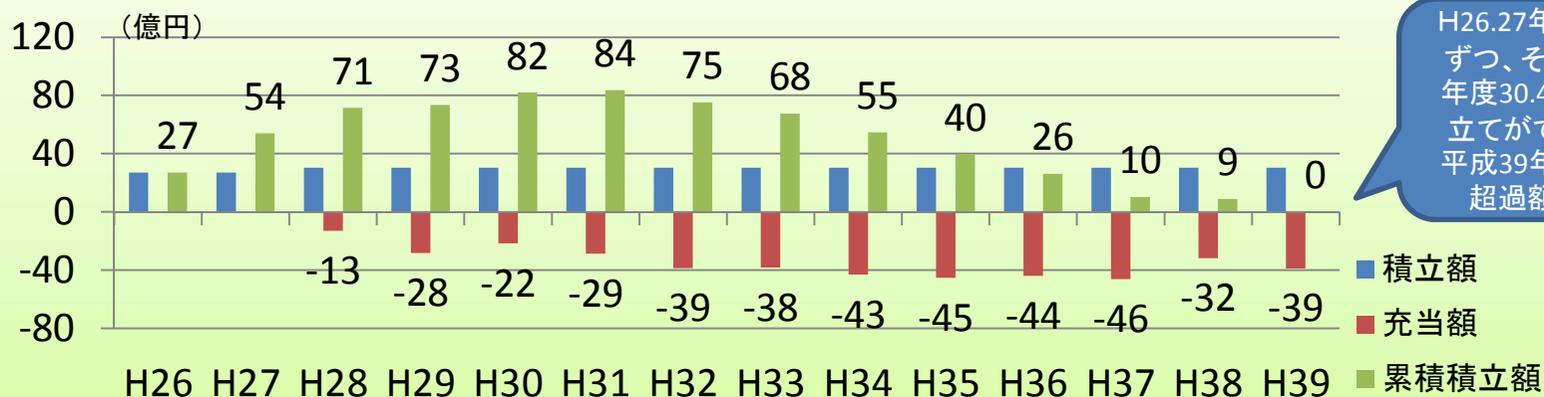
公共施設マネジメント計画・アクションプランのコスト推計から計算



毎年度27億円の積立てができれば、平成33年度までの財源不足を解消

今回推計：目安額30.4億円

予定されている新設以外の新設を行わない場合、予防保全・更新の事業費見込みにおける第1のピーク(H28~39)の財源不足を解消



H26.27年で27億円ずつ、それ以降毎年度30.4億円の積立てができれば、平成39年度までの超過額を解消

# 積立目安額に係る留意点

## 「新設」の抑制徹底により積立額を維持

ハコモノ三原則  
を厳守

予定されている  
新設以外の新  
設を行わない

積立目安額  
30.4億円の  
維持が可能

※それでも必要とされた新設や、更なる建設単価の上昇に対して

### 「選択と集中」による事業費抑制

- 更新施設の面積抑制(工事費)
- 学校プール集約化等の既存機能の選択と集中(工事費 & 光熱水費)

### 「PPP」による事業費抑制・財源創出

- 点検委託やコンストラクション・マネジメントの導入による予防保全工事の最適化(工事費)
- 建物包括管理委託(委託料等)
- ESCO事業(光熱水費)
- 公有財産売却包括委託(普通財産の土地など・財源創出)